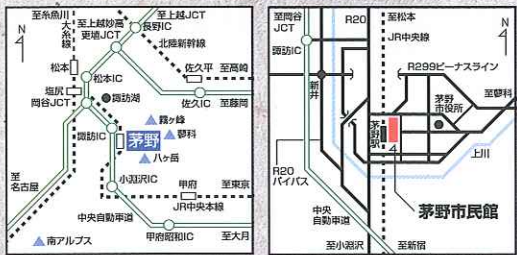




「平成御柱御曳行絵図一式年御造営諏訪大社御柱祭」(部分) 横5m40cm×縦110cm



茅野市美術館 企画展示室
〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 Tel:0266-82-8222
JR中央本線・茅野駅下車、東口直結
中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

主催/ 奴奈川姫日本画展実行委員会
共催/ やまぼうしの会
後援/
長野県教育委員会、茅野市、茅野市教育委員会、
上越市、上越市教育委員会、
糸魚川市、糸魚川市教育委員会、
信濃毎日新聞社、エルシーブイ株式会社

奴奈川姫日本画展実行委員会

このたび諏訪大社上社本宮に絵を奉納する川崎日香理さんの個展を開催いたします。

川崎さんは、お諏訪さまの母神である奴奈川姫(ヌナカワヒメ)の住んだ越の国・新潟県上越市出身。姫を研究画題とし、古事記の世界を古典日本画の技法を用いた日本画家として活動しております。使用する顔料は天然のものにこだわり、諏訪産の黒曜石、独自に糸魚川産硬玉ヒスイの顔料を作り出すなど、精力的に制作発表しています。

古事記編纂千三百年祭のイベントで島根県に招かれて個展を開催されるなど、出雲神話に縁のある地で作品を披露しており、このたび念願叶い諏訪大社への奉納というご縁を頂戴しました。

会場では、奉納絵「平成御柱御曳行絵図一式年御造営諏訪大社御柱祭」(横5m40cm×縦110cm)をはじめ、金屏風の近作や、本年5月刊行の書籍「列島を制覇した大王―景行天皇 日本武尊 伝―」(河村哲夫/志村裕子著)の挿絵を含め数十点を展示。

御柱祭を来年に控え、上越地域に伝わるお諏訪さまご誕生の伝承なども作品の解説として紹介いたします。

昨春秋に古事記・日本書紀と並ぶ日本三大通史書「先代旧事本紀」が初めて現代語訳され、建御名方命(タケミナカタノミコト)と奴奈川姫(ヌナカワヒメ)は信州と越との深い繋がりがますます解明されつつあります。

是非とも足をお運び頂き、迫力ある奉納画を間近にご覧頂きますと共に、古事記の世界に想いを馳せ、信州と越のご縁を感じて頂く機会として頂きますと幸いです。

平成27年6月19日(金)～
6月24日(水)
午前9時～午後5時(初日は11時開会)※火曜定休

入場無料

茅野市美術館 企画展示室
奴奈川姫と建御名方命
そして、出雲と大和

諏訪大社奉納記念
川崎日香理日本画展